



Yonago East Weekly

「一人ひとりが輝きを！ ロータリーに大きな輝きを！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/高橋孝之 ●幹事/杉本真吾 ●会報/細田耕治

会員数 103名
(正会員 102名 名誉会員 1名)

今週のお祝い

結婚記念祝: 2日 中山晴文君 5日 新納哲雄君 6日 足立耕太郎君 7日 細田耕治君 松本誠二君 11日 安井峰男君 14日 鷺見雄司君 24日 高橋孝之の会長 石部裕一君 26日 小土井秀明君 28日 中村剛土君

会長挨拶

皆さんこんにちは
先程、インフォメーションを行い、今日から漆原輝之さんに会員になっていただきます。
24日(日)から3日間、芸場(イエジャン)RCとの交流のためソウルへ15名で行って参りました。芸場RCでは、祭日にも関わらず、夜間例会として約20名の会員の方に集まっていただきました。懸案であった芸場RCと米子東RCとの合同でバングラデシュに学校を寄贈する件は、バングラデシュの受け入れ態勢がまだ明確でないために実行には至っていないとのことでした。まだ時間がかかりそうであるとのことなので、「これからご連絡を取ってやっていきましょう」ということになりました。

もう一つは、来年度、国際ロータリーの大会がソウルであります。今まで、交互に行ったり来たりしていたわけですが、「来年度も続けてソウルに来て欲しい」とのことでした。この件についてもみなさんと協議していきたいと考えています。それと、芸場RCの会員の中に刺繍をやっている方がいらっしゃいます。韓国の大統領がローマ法王にお会いになる時にこの方の作品をお渡しされたというくらい国際的な刺繍家であります。実は、この方が今年の11月に米子市で展示会をされるとのことです。ぜひ、みなさんに見ていただきたいとのことでした。時期が来たら、ご案内をすることになるかと思えます。みなさんのご理解とご尽力をお願いいたします。

幹事報告

1. 本日、漆原輝之君迎える
2. 5/24~26芸場RC訪問交流会
会員11名、ご夫人3名参加
3. ロータリーレート6月1ドル118円
4. ネパール地震義援金のお願い
(ガバナー事務所)
5. 7/25~26第39回インターアクト地区大会のご案内
(くらしき山陽ハイツ)
6. 新入会員推薦で国際大会(サンパウロ)において、レセプションのお知らせ (杉原弘一郎会員宛て)
7. 6/17 山陰労災病院ミニ人間ドック
16名

今後の主な行事予定

- | | |
|------|---|
| 6/3 | 新年度クラブ協議会 18:30~(芙蓉西) |
| 6/17 | 職場訪問
「山陰労災病院ミニ人間ドック」 |
| 6/20 | 庄司尚史ガバナーエレクト年度
「第1回地区役員予定者連絡会」
17:30~ (境港マリーナホテル) |
| 6/24 | 夜間例会 |
| 7/8 | 杵村ガバナー補佐訪問クラブ
協議会 例会終了後 (高砂) |
| 7/22 | 佐藤ガバナー公式訪問 18:30~ |



Light up Rotary
ロータリーに輝きを

<プログラム>

「イノベーションの真実」



(財)Ruby アソシエーション 理事長 まつもと ゆきひろ氏

まつもとです。よろしくお願ひいたします。普段は、技術的なややむつかしいことをお話することが多いのですが、本日はそういうことにならないようにしたいと考えています。

2009年に、松江市名誉市民に選ばれました。あと、何年前かに「日本イノベーション大賞」というものもいただきました。ということもあり、本日は「イノベーション」について語ろうと思います。

イノベーションという言葉は辞書で調べますと「不連続な技術革新」と出てきます。イノベーションという言葉は、ビジネスにおいてよく出てくる言葉であります。この言葉が使われるのは、閉塞感があるときに、新しい技術であったり、新しい何かを取り入れることによって、成功したいという期待がある時です。これを「破壊的イノベーション」といいます。

みなさんがイノベーターと言われている方、企業を思い浮かべていただくとき、おそらく一番先に名前が挙がってくるのは、Apple社ではないかと思ひます。様々な新しいもの、例えば、パソコン、電話、タブレット、時計等々を次々としています。新しい分野に参入し、非常に注目されている企業です。社会に対しても、大きな影響を与えています。このApple社を率いていたのが、スティーブ・ジョブズ氏であり、イノベーターと言われる方であると思ひます。

iPhoneによって、世界は大きく変わりました。特に、スマートフォン全体の中でiPhoneが過半数を超えている国は、日本だけだそうです。しかし、「iPhoneは最初のスマートフォンか？」というと、そうではありません。その前には、電子手帳というものがありました。電話機能を持った電子手帳というのは、iPhoneより前からあったのです。また、「iPadは最初のタブレットか？」というと、そうではないのです。画面があつてタッチで操作していたものは、過去にもありました。さらに、「Apple watchは最初のコンピューターを内蔵した時計か？」というと、決してそうではありません。日本において、時計の中にさまざまな機能を入れるのであれば、カシオがお家芸です。なので、イノベーションという言葉を知ると、誰かが何か新しいものを発明し、その発明によって新しいビジネスを作り、そのビジネスによってビジネスモデルを革新するからイノベーションであると思ひかもしれませんが、そうではないのです。

では、「イノベーションとは何か？」というと、イノベーションとは「社会にインパクトを与えたかどうか」によって決まってくるものなのです。これが、

「イノベーションの真実」という本日のテーマです。では、「ビジネスにおいて、どうやってイノベーションを起こすのか？」ということについてです。新しいものを作るのは大変ですが、壊すのは比較的簡単です。ビジネスにおいて「壊す」ことの有名な例が、コダックと富士フィルムです。

コダックは、世界最大のフィルムメーカーで、カメラに対してすごいこだわりを持っていました。そうした中で、デジタルカメラの進出は我々の築いてきた文化、体質を破壊するものがあつたんです。その結果、コダックは、倒産に追い込まれ、現在再建中です。フィルムというビジネスが、なくなってしまったわけです。

では、日本の富士フィルムはどうしたかという、化粧品とかバイオ、化学といった分野に参入し、フィルムで培った技術を他の分野に応用して、今伸びています。では、「みなさんのビジネスにおいて、どうやってイノベーションを起こすのか？」ということについて、その答えを私は持っていないわけですが、Rubyを作って、日本イノベーション大賞を頂いて、イノベーターの端くれと思われていることを考えて見ると、いくつかの良いやり方を箇条書きにできるのではないかと思ひます。

一つは、「リスクを低減する」ということです。IT関係のビジネスは、投資にあまりお金が掛かりません。パソコンがあればいいのです。リスクが低いと何回も挑戦ができます。

次は、異分野の組み合わせです。その中で、私が提案したいのは、「となりの深堀り」です。自分の専門分野は、当然お持ちだと思います。少し関係しているがとなりの分野を深く掘ることによって、新しい何かを生み出すことができるのではないかと考えています。

あと、小さなチームでプロジェクトを組むこともすごく重要です。そうすると、しがらみから解放されて、自由な発想で取り組むことができきます。

そして、趣味が絡んでいるといいですね。自分の興味の方向と新しい事業の方向性があつているので、モチベーションを維持して取り組むことができます。

さらに、人と人とのつながりによって、そのことを良いといってくれる人がどれだけいるか、によって変わってきます。「プロジェクトの周りに、良いとわかつてくれるコミュニティがどれだけ存在しているか」が重要です。最近、このことを「ソーシャル」と言っています。また、「巻き込み型マーケティング」とも言っています。「どれだけのファンを作ることが出来るか、どれだけの人が参加してくれるか」ということです。そのキーとなるのは、「哲学」だと思います。Apple社にファンがすごく多いのは、Apple社のもっている哲学に魅力を感じている人が多い、ということなのです。

みなさんが何かイノベーションを起こそうとするとき、もちろん、そのものの良さも大事ですが、「あの企業がやっていることであれば、また、何か新しいことをやってくれるだろう」という期待が、次のイノベーションを引き起こしていくことになるのではないのでしょうか。これを、「哲学をベースにした巻き込み型マーケティング」と呼びます。社会的インパクトを与えることによって、イノベーションが実現できていくのです。

次回プログラム

6/3 「基礎自治体から見た地方創生と防府市の取り組み事例」 防府市長 松浦正人氏